

▶ PCB センサーのセルロース学会受賞

当社が電力中央研究所等と共同開発した絶縁油の PCB 汚染判定に利用する「PCB センサー法」が、平成 24 年度セルロース学会技術賞を受賞しました（写真左から、愛媛事業所 環境科学グループ 野口貴史、技術開発センター 今西克也、吉田寧子）。

セルロースによる抗体の特異的捕捉機能と発煙硫酸含浸シリカゲルを利用する前処理法を組み合わせた技術の独創性と低コストかつ迅速判定を特徴とする商品としての有用性が認め

られました。

今後も本商品をお客様にご活用頂き、長年の社会的課題である PCB の無害化処理に貢献していきたいと考えております。



▶ 生物応答を用いた排水試験 (WET 試験) の受託を開始

生物応答を用いた排水試験（通称「WET (Whole Effluent Toxicity) 試験」）の受託を開始しました。

排水中の化学物質は一般には分析機器を用いて個別に分析していますが、この WET 試験は藻類・ミジンコ・魚類に排水を曝露させ、その応答（生長阻害・繁殖・生死・孵化率など）を用いて評価する新たな排水試験法です。

事業場で取り扱う化学物質は多種多様のため、これらの生態影響を個別の物質ごとに調査・管理することは膨大な作業を要します。

本試験法は生物の応答により、生態に影響を及ぼす様々な化学物質を総合的に管理することができます。

お客様の CSR の向上や地域とのコミュニケーションに役立てて頂けるように、試験の提供に加え、原因解析や対策などにつながるサポートも目指してまいります。

▶ 「医薬品中の金属不純物ガイドライン ICHQ3D への対応」

医薬品の安全性確保の観点から金属不純物の規制の強化が進められており、日米 EU 医薬品規制調和国際会議 (ICH) は 2013 年 6 月に ICHQ3D 医薬品の金属不純物ガイドライン (案) Step2b にサインオフしました。

また、日米 EU の薬局方においても、従来の比色法による重金属総量分析から個別の金属定量に移行しつつあります。

当社は、長年培った前処理技術と ICP-MS、ICP-AES 等の高感度機器を用い、ICHQ3D に対応した医薬品原料、製剤、添加剤中の金属不純物の分析や製造プロセスの金属不純物挙動解析などのサービスを提供いたします。

また、信頼性基準、GMP 管理下での試験法開発、バリデーション試験、出荷試験など幅広いサービスを承ります。

▶ 株式会社イナリサーチとの業務提携

2013 年 9 月 2 日付で、株式会社イナリサーチと業務提携契約を締結しました。イナリサーチは非臨床試験事業を主体とする国内有数の受託機関です。本提携により、試験機能と分析機能が一体化した非臨床試験のサービス・商品をご提供してまいります。

特に、バイオ医薬品分野では、イナリサーチが得意とするサルを用いた非臨床試験において、当社がバイオ医薬品特有の分析技術である ELISA、ECL、SPL、バイオアッセイ法などを用いた薬物動態、抗薬物抗体の評価を行うことで、両社の強みを最大限に発揮した高品質でお客様にとって価値のあるサービスをご提供できるものと考えております。ご期待ください。

▶ 住化分析技術 (上海) 有限公司 (SAES) における医薬事業開始

当社は、中国における医薬品開発支援のために国内分析 CRO としては初めて、住化分析技術 (上海) 有限公司 (SAES) 内に自社ラボを立上げ、医薬品バイオアナリシス事業に参入します (2014 年 1 月開業)。

SAES のラボでは当社の日本人試験責任者、試験担当者および営業部員が常駐し受託業務を行います。日本国内のラボ、営業と連携し、当社が長年培った技術で高い品質レベルのサービスを提供します。

当面は日系の製薬企業の中国におけ

る臨床試験の支援を中心にきめ細かいサービスをご提供し、将来は中国や欧米の製薬企業の医薬品研究開発における分析需要にも応える体制を整えていく計画です。

【業務内容】

- 生体試料中の薬物濃度測定、バイオマーカー測定
- LC/MS/MS を使用した微量分析法の開発、分析法バリデーション
- 臨床試験における PK 測定サービス